

Q13 手術のあとは？

入院した翌日の午前には手術が行われます。お昼から軽食がでて、夜には普通の食事ができます。(最初はお粥です)。手術当日はベッドの上で安静にしてもらいますが、翌日からは院内で普通に歩くことができます。手術翌日にはシャワー。

2日目にはお風呂に入ることができます。お風呂に入り温まることで患部の腫れがひき、洗うことで清潔になり、それが痛みの改善につながります。約1週間の入院が基本で、出血、痛みの程度などをみて、患者さんの不安の軽減に努めます。先に述べた結紮切除術を行った際は、手術後より排便時の出血が多かれ少なかれあります。通常は自然に止血するので心配はいりません。入院中の外出はできないので注意してください。もちろん院内禁煙です。

Q14 手術の合併症は？

手術して約1～2週間後に突然、大量の出血をきたすことがあります。通常、退院したあとにおこるので、患者さんはびっくりします。これは手術で血管をしぼった糸の張力がなくなってきた時に、排便などの刺激が重なっておこります。統計的にみると約3%の患者さんに生じています。動脈性の出血のため血圧が下がり、緊急入院が必要となることが多いです。また痔核を切除することで肛門が狭くなることもあります。手術後は一時的に便が細くなるがありますが、通常は徐々にもとに戻っていきます。ところが狭くなったまま元に戻らないことがあります。痔核を多くとればリスクは高くなるため、肛門全体にできた大きな痔核を切除する際はどの程度切除するかが専門医の腕の見せ所となります。

Q15 手術の後、便が漏れたり、人工肛門になったりするの？

痔核の手術では肛門を閉める筋肉を切らないのでそういったことはありません。ただし、経年変化で肛門の筋肉が弱くなっている患者さんもいます。直腸肛門の粘膜脱出を切除した患者さんでは、手術後も腸の粘液がでると訴える患者さんもいます。

Q16 手術後の診察は？

どれくらいで治るの？

通常退院後1～2週間後に受診してもらい

ます。症状にもよりますが、その後は月に1度くらいの診察を行います。お腹の手術などでは、切った皮膚を糸で縫合し、抜糸すれば1週間程で治りますが、肛門は違います。排便しながら傷が治るのを待つので全て縫合しません。感染する可能性があるからです。切除した部位が自然に閉鎖するのを待つため、治癒まで1～2か月はかかります。当然、切除数や大きさにより期間はかわります。

Q17 再発ってあるの？

手術では患者さんの症状の原因となっているものだけを切除しています。そのため、その後の排便習慣などで手術が必要ななかった部位が大きくなり再発することはあります。手術のあとは、生活習慣を整えることが重要です。

Q18 手術代金は？

最後にお金のお話。なんとなく聞きにくいけど、絶対聞きたいこと。デパートや旅行会社、レストランにいけば代金は普通に提示してありますが、なぜか病院の診察室には診察代金や手術代金のパンフレットはありません。手術の説明が終わった後、「ところで」って聞かれることが多々あります。当院は保険診療なので国で定められた手術代金となります。痔核の結紮切除を行い、1週間入院した際の費用は3割負担の患者さんで約9万円です。個室は別途16,500～30,800円/日かかります。

Q19 医療保険はおりのの？

痔核の結紮切除術を行った際は、痔核根治手術となります。保険会社に確認は必要ですが、一般的な保険会社では適応となっています。もし手術だけでなく、外来通院も適応となる保険に入っているなら、治癒と診断されるまで待ってから書類を提出したほうがいいですよ。

最後に

いかがでしたか。思いつくままペンを走らせました。少しでも疑問点が解消されていることを期待します。何か心配ごとがあった際は気軽に相談にきてください。顔写真が昔のもので、会うと違和感を感じるかもしれません。そろそろ写真を変えてほしいものです。